

温泉分析書

佐環検温第 2012-00006 号

平成 24 年 6 月 13 日

シンコースポーツ 株式会社 様

〒840-0033 佐賀県佐賀市光 1丁目1番2号
財団法人 佐賀県環境科学検査協会
理事長 木原 泰文
TEL 0952-22-1651 FAX 0952-22-1655
温泉分析登録機関 佐賀県登録41第00002号



依頼されました試料の分析結果は、下記のとおりです。

1. 申請者	住 所	佐賀県小城市牛津町柿樋瀬1100番地1					
	氏 名	小城市長 江里口 秀次					
2. 源泉	名 称	津の里源泉					
	湧出地	佐賀県小城市牛津町大字勝字前満江1218番1					
3. 湧出地における調査及び試験成績書							
調査及び試験者		財団法人 佐賀県環境科学検査協会				泉 直樹	
調査及び試験年月日		平成 24 年 5 月 24 日 (天候)				曇	
泉温		55.8℃ (調査時の気温)				24.7℃	
*湧出量		220 L/min 揚水方法				動力揚湯	
知覚試験		無色透明 無味無臭		pH値	8.09		
ラドン (Rn)		—					
4. 試験室における試験成績							
試験者		財団法人 佐賀県環境科学検査協会				堤 美智代	
知覚試験		無色透明 無味無臭		pH値	8.37		
密度		0.9994 (20℃)		蒸発残留物	1.181 g/kg (110℃)		
5. 試料1kg中の成分・分量及び組成							
陽イオン				陰イオン			
成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール(mval%)
水素イオン(H ⁺)	—	—	—	弗素イオン(F ⁻)	14.0	0.74	4.03
リチウムイオン(Li ⁺)	0.2	0.03	0.17	塩素イオン(Cl ⁻)	14.6	0.41	2.25
ナトリウムイオン(Na ⁺)	372.7	16.21	97.63	臭素イオン(Br ⁻)	0.0	0.00	0.00
カリウムイオン(K ⁺)	4.3	0.11	0.66	ヨ素イオン(I ⁻)	0.0	0.00	0.00
アンモニウムイオン(NH ₄ ⁺)	0.4	0.02	0.13	亜硝酸イオン(NO ₂ ⁻)	0.0	0.00	0.00
マグネシウムイオン(Mg ²⁺)	0.9	0.07	0.45	硝酸イオン(NO ₃ ⁻)	0.0	0.00	0.00
カルシウムイオン(Ca ²⁺)	3.0	0.15	0.90	水酸イオン(OH ⁻)	0.0	0.00	0.00
ストロンチウムイオン(Sr ²⁺)	0.2	0.00	0.03	硫化水素イオン(HS ⁻)	—	—	—
バリウムイオン(Ba ²⁺)	0.0	0.00	0.00	硫酸イオン(SO ₄ ²⁻)	0.4	0.01	0.05
アルミニウムイオン(Al ³⁺)	0.0	0.00	0.00	リン酸水素イオン(HPO ₄ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
マンガンイオン(Mn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	炭酸水素イオン(HCO ₃ ⁻)	1046.0	17.14	93.68
総鉄イオン	0.1	0.00	0.02	炭酸イオン(CO ₃ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
銅イオン(Cu ²⁺)	0.0	0.00	0.00	硼酸イオン(BO ₂ ⁻)	—	—	—
亜鉛イオン(Zn ²⁺)	0.0	0.00	0.00	亜硫酸イオン(S ₂ O ₃ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
—	—	—	—	砒亜硫酸イオン(AsO ₂ ⁻)	—	—	—
陽イオン合計	381.8	16.60	99.99	陰イオン合計	1075.0	18.30	100.01
遊離成分							
成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	成分名	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)		
珪酸(H ₂ SiO ₃)	46.8	0.60	遊離二酸化炭素(CO ₂) (遊離炭酸)	5.5	0.12		
珪酸(HBO ₂)	47.8	1.09	遊離硫化水素(H ₂ S)	—	—		
砒亜酸(HAsO ₂)	0.0	0.00	—	—	—		
非解離成分合計	94.6	1.69	溶解ガス成分合計	5.5	0.12		
溶存物質 (ガス性のものを除く)		1.551g/kg		成分総合計		1.557g/kg	
その他微量物質		総砒素 (T-As) 検出せず		総水銀 (T-Hg) 検出せず			
		鉛 (Pb) 検出せず		総クロム (T-Cr) 検出せず		カドミウム (Cd) 検出せず	
6. 泉質	ナトリウム-炭酸水素塩温泉 (低張性 弱アルカリ性 高温泉) (旧泉質名: 純重曹泉)						
7. 禁忌症・適応症等	温泉分析書別表に記載						

* 湧出量については、温泉分析書 平成14年6月17日 佐衛薬温第1号 佐賀県衛生薬業センターより転記する。

温泉分析書 別表^(注)

佐環検温第 2012-00006 号

源泉名	津の里源泉
源泉所在地	佐賀県小城市牛津町大字勝字前満江1218番1
温泉分析申請者	小城市長 江里口 秀次
泉質	ナトリウム-炭酸水素塩温泉（低張性 弱アルカリ性 高温泉）（旧泉質名：純重曹泉）
禁忌症等	(1) 浴用上の一般的注意事項 (1) 浴用上の一般的注意事項 ア 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は、1日当たり2回ないし3回までとする。 イ 温泉療養のための必要な期間は、おおむね2～3週間を適当とする。 ウ 温泉療養開始後、おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり（湯さわり又は浴湯反応）が現れることがある。「湯あたり」の間は、入浴回数を減じ又は入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。 エ 以上のほか、入浴には次の諸点について注意をすること。 ・入浴時間は、入浴温度により異なるが、最初は3分ないし10分程度とし、慣れるに従って延長してもよい。 ・入浴中は、一般に安静を守る。但し運動浴は、別とする。 ・入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない。但し湯ただれを起こしやすい人は、逆に真水で洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。 ・入浴後は、湯冷めに注意して一定の安静を守る。 ・次の疾患については、原則として高温浴（42℃以上）を禁忌とする。 ① 高度の動脈硬化症 ② 高血圧症 ③ 心臓病 ・熱い温泉に急に入るとめまい等を引き起こすことがあるので十分に注意をする。 ・食事の直前・直後の入浴は、避けることが望ましい。 ・飲酒してからの入浴は、特に注意する。
	(2) 温泉の一般的禁忌症（浴用） 急性疾患（特に熱がある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（初期と末期）
	(3) 泉質別禁忌症（浴用）
	(4) 療養泉の一般的適応症（浴用） 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、打ち身、くじき慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進
	(5) 泉質別適応症（浴用） きりきず、やけど、慢性皮膚病

(注) この表は、県知事への温泉分析等の揭示の届出(温泉法第13条並びに同法施行規則第5条に基づく。)の際の参考資料となるものです。

禁忌・適応症等は、昭和57年5月25日付け環自施第227号環境庁自然保護局長通知「温泉法第13条の運用について」の中の別紙「温泉の禁忌症及び入浴又は飲用上の注意決定基準」から当該泉質に係る部分を抜粋したものです。